

社会福祉法人 和楽日会

平成28年度 事業実績報告

平成29年度から、地域の福祉を担う法人・高齢者の介護施設として事業を永続的に実行するため、かつ地域に根差すべく「竹育会」から「和楽日会」へと法人名を改称致しました。（名称由来：地域の福祉を担う法人・高齢者施設としてつくばみらい市（旧谷和原村）の地で楽しく一日一日をお過ごし頂きたい願いを込めて）

名称を変更する過程としては、役職員から募集した約30件の名称の中から、名称変更検討委員会及び名称選考決定委員会を経て、上記由来により「和楽日会」に改称頂きました。

平成29年度からの社会福祉法の本格的な施行に伴い、定款の大幅な改正や新制度の要件に合致した新評議員の選任、地域への公益的な取り組みの検討など法改正に伴う諸手続き等適時対応し、新制度施行に向かって法人運営を実施して参ります。

また、本年度は、県及び市による施設一般検査及び介護保険施設実地指導が実施され、一部の記録について不備が指摘されており、その内容は栄養マネジメント・個別機能訓練加算等の指導でありましたので、その後改善対策の徹底を図りました。

以下、本年度の重点計画に定められた事業についての実績を報告致します。

<重点的取組実績について>

(1) 特養における重度化対応へのケアの充実について

平成27年度より特養の入所基準が変更となり、本年度も引き続き原則要介護3以上の方々が入所対象となっております。特養入居者の平均要介護度も4.2となり、重度化が進んでいます。ご利用者ひとりひとりのニーズに対応しやすいようグループ毎に個別ケア体制で実施し、ご利用者の状態に合わせて各グループでの細かなミーティングや介護員・看護師・生活相談員等他職種連携し、最適なケアへの討議・実施をしました。このような重度化に伴い、体調を崩しやすい方や医療依存度が高くなる傾向にあり、昨年度に比べると通院利用者は約1.5倍（歯科往診を含む）となりました。その影響もあり、入院日数の増加や退所者数が多くなることで空きベッドの期間が長くなり、サービス稼働率が減少しました。

(2) 看取りケア体制の更なる整備と実行について

本年度は、施設での看取りケアを希望された2名のご利用者を従来型特養において看取らせていただきました。看取り介護開始時には、ご家族の意向を伺い、医師・看護師・介護員・栄養士・生活相談員等他職種で連携しながら、出来るだけご本人が快適に過ごしていただけるようにケアにあたらせていただきました。尚、夜間帯での対応については、他職種で協議し、一定の手順や方法を整備しました。

(3) 地域における公益的な取り組みの検討・実施について

本年度も地域への公益的な取り組みとして、認知症サポーター養成講座への講

師派遣や市社協主催の福祉まつりへの参加等の活動を行いました。

(4) 施設の経年劣化に伴う設備更新について

従来型特養においては、開設20年を超えましたので、業務用洗濯機や厨房内の業務用冷蔵庫の設備更新を実施しました。また、厨房の作業改善を図るため、LED照明に切り替えました。本館特養では、スプリンクラー設備や従来型・ユニット型特養のエアコンが故障するなど生活に影響の大きい事案に対して迅速に修繕工事を実施しました。

(5) 研修参加・資格取得等によるスタッフの能力向上および良質な環境作り

外部研修に行ったスタッフ自身が学ぶだけでなく、その内容を2か月ごとの定例施設内研修にて伝達する方式を導入しました。初めて講師を行うというスタッフもいましたが、教えることによりより深く学びを得られるという効果が見られました。試験日や講習日を出勤扱いにする等、法人として資格取得を推奨しました。

<個別取組実績について>

1. 特別養護老人ホーム ぬくもり荘にかかる事業実績

グループケアを始めて4期目を迎えましたが、グループ毎にご利用者の疾患やADLや生活状況等をより深く把握し、リーダーを中心に職員が一丸となり、ご利用者個々の最適なケアを提供できるよう努めて参りました。特にご利用者の高齢・重度化に伴い、介護員・看護師・生活相談員等他職種が連携することはもちろんのこと、ご家族とも連絡を密にし、ご利用者の穏やかな生活を送ることができるよう支援しました。

また、ご利用者の入浴環境改善として、座位式特殊浴槽（シャトル）を本年度年の平成29年3月に導入することで作業改善を行い、安心・快適な入浴を実施しました。

荘内・荘外行事は全10回実施しました。お食事等外出の行事を継続し、昨年度常総市の水害の影響で中止とした敬老会を再開しました。

◎主な行事等の実績報告

() 内は前年度実績数

行事实績 年 月 日	行事名 (場所)	参加入所者数	職員及び ボランティア数	家族数
平成28年 4月 1日 4月上旬	さくらの花見鑑賞 (市きらくやまふれあいの丘) (谷和原公民館)	人 6 (6) 45 (45)	人 6 (6) 10 (10)	人 —
5月 8日	お食事・ショッピング (はま寿司・アクロスモール守谷)	6 (6)	6 (5)	—
6月 3日	あやめ鑑賞 (守谷市四季の里公園)	6 (4)	6 (4)	—

6月 5日	家族交流会 (施設内)	49 (51)	40 (40)	44 (44)
7月 15日	お食事会 (華屋与平衛小絹店)	6 (6)	6 (6)	—
8月 7日	夏祭り (施設内)	52 (52)	40 (30)	—
9月 19日	敬老会	49 (0)	53 (0)	54 (0)
10月 4日	ドライブ (自然博物館)	6 (0)	6 (0)	—
12月 25日	クリスマス会 (施設内)	52 (52)	10 (10)	—
平成29年 2月 5日	節分 (施設内)	50 (52)	10 (10)	—
合 計	延べ10回実施	327 (274)	193 (121)	98 (44)

◎市別入所利用実績 (平成29年3月末)

- * 合計入所者数 50人 (男性8人・女性42人) 平均年齢 88歳
 ・つくばみらい市 45人・常総市 1人・守谷市 1人
 ・取手市 1人・つくば市 1人・千葉県柏市1人

◎看護業務の主な実績報告

ご利用者に対する日々の健康管理や処置・通院等の業務を実施しました。ご利用者の体調に異変がある場合には、嘱託医に相談する等して早期発見や症状への処置に努めましたが、体調を崩される方も多く通院や入院が増加しました。感染症に関しましては、昨年度に引き続き今年度もインフルエンザや胃腸炎等の発症された方も非常に少なく、感染症の集団発生もありませんでした。

従来型特養においては、希望された2名のご利用者の看取り介護を行いました。

(平成29年1月：1名及び平成29年2月：1名)

() 内は前年度実績数

① 入居者の定期健康診断等

レントゲン撮影、心電図	平成28年 4月27日	82人 (82人)
採血・採尿検査	平成28年 4月27日	82人 (82人)
検便	平成28年 7月26日	77人 (78人)
採血	平成28年10月11日	80人 (79人)

インフルエンザ予防接種 平成28年10月24日 86人(89人)

(※インフルエンザ予防接種については、ショートステイ利用者含む)

② 外来通院者	延べ372人	(246人)
③ 褥瘡処置	1人	(0人)
④ 一般処置	年間延べ人数	19,437人(21,159人)
	月平均人数	1,619人(1,763人)
	1日平均人数	53人(59人)

◎給食業務の主な実績報告

本年度は、ご利用者の重度化対応として、食事摂取が困難な方に対して看護師、介護員、生活相談員と連携して検討し、ご飯の代替えでパン粥の提供や、嗜好や嚥下能力等考慮した栄養補助食品を使用し、より細かな個人対応を行いました。

また、手作りおやつを昨年度より増やし、デイサービスにおいては選択おやつを実施しました。ご利用者にも大変好評をいただきました。

厨房内の環境整備や業務改善として、温冷配膳車の配置換えを行い、作業効率が向上しました。設備においては、LED照明の導入や業務用冷蔵庫を更新したことにより、より細かな食品保存が可能となりました。

()内は前年度実績数

項目	朝食	昼食 (デイサービスを含む)	夕食
年間給食数	30,260 (31,089)	35,451 (36,078)	30,845 (31,438)
月間平均給食数	2,522 (2,591)	2,954 (3,007)	2,570 (2,620)
1日平均給食数	<u>83</u> (86)	<u>97</u> (100)	<u>85</u> (87)

※従来型・ユニット型特養及びショートステイ事業での稼働率が低下した為、給食提供数は、前年度対比減となりました。

2. ショートステイにかかる事業実績

本年度は、昨年度に比べるとサービス稼働率が減少するかたちとなりました。ショートステイの傾向として、特養の入所待機の方やご利用者の重度化により、長期に利用を希望する方が増えました。一方、従来定期的に短期でご利用いただくご利用者が減少しました。

また、今まで従来型特養併設短期入所を主としていますが、平成28年度はユニット型特養空床型短期入所受入も実施し、幅広い対応を心がけました。

ショートステイの平成28年度利用者日数実績 ()内は前年度実績数

項目	延べ利用人数
平成28年度実績	<u>2,848人</u> (3,438人)
1日平均利用人数	<u>7.8人</u> (9.4人)

3. ユニットにかかる事業実績

荘内・荘外行事を合計10回実施しました。いちご狩りや夏祭り・ハロウィンパーティー等見て楽しむだけでなく、入居者と職員と一緒に活動する参加型の行事を実施する事により、刺激や役割等を感じて頂きました。

日々の関わりの中では、寄り添う時間を大切にし、馴染みの関係を作り信頼関係を構築しました。結果として認知症の方の精神的な安定を図ることが出来ました。

また、機能訓練指導員の計画のもと、個別機能訓練に力を入れ心身機能の維持・向上に努めました。

設えの面では、ユニット費を用いて各ユニット入口・玄関に相応しい飾り付けを行い、リビングでは、ご利用者の趣味の作品を飾るなどして、昔を思い出す空間作りを行い居心地が良い環境場所作りを行いました。

◎主な行事等の実績報告

()内は前年度実績数

行事実績 年月日	行事名	参加入所者数	職員及び ボランティア数	家族数
平成28年		人	人	人
4月28日	いちご狩り(下妻市)	<u>4</u> (0)	<u>4</u> (0)	0 (0)
5月27日	食事会(夢庵小絹店)	3 (4)	4 (4)	0 (1)
6月 5日	家族交流会(施設内)	29 (29)	12 (16)	26 (24)
7月31日	荘内パーティー(施設内)	29 (30)	10 (10)	1 (0)
8月 7日	夏祭り(カレーパーティー & スイカ割り)(施設内)	29 (30)	10 (10)	0 (0)
9月19日	敬老会(施設内)	<u>29</u> (0)	<u>18</u> (0)	<u>26</u> (0)
10月31日	ハロウィンパーティー(施設内)	<u>29</u> (0)	<u>10</u> (0)	0 (0)
12月25日	クリスマス会(施設内)	26 (29)	8 (9)	0 (2)
平成29年				
1月上旬	初詣(施設内)	27 (30)	—	—
2月 3日	節分(施設内)	28 (30)	6 (9)	0 (0)

合 計	延べ10回実施	233 (182)	82 (58)	53 (27)
-----	---------	--------------	------------	------------

上記の行事の他、百寿祝賀会を実施しました。

◎市別入所利用実績（平成29年3月末）

*合計入所者数 28人（男性7人・女性21人） 平均年齢 86歳
 ・つくばみらい市 22人 ・守谷市 4人 ・取手市 2人

4. デイサービスセンターにかかる事業実績

平成27年度末から本年平成28年度始めにかけ、サービス稼働率減小傾向にありました。そのため、無料体験やケアマネージャーからの依頼のあった時に即日対応により、ご利用者、ご家族に対してサービスの利用しやすい環境を整えました。サービス内容については、創作活動や趣味活動の種類を増やし、傾聴ボランティア、体操ボランティアの受け入れを積極的に行い、ご利用者の方々に楽しんでいただけるよう努めました。上記事業活動に対して、居宅介護支援事業所からの依頼が増加傾向にあり、本年度後半にはサービス稼働率が若干数増加しました。

◎主な実利用人数等実績

() 内は前年度実績数

年 月	運営 日数	延べ 利用人数	1日平均 利用人数	主な行事
平成28年 4月	26日(26)	<u>391</u> (389)	15.0 (15.0)	米寿祝賀会1回 お花見4回
5月	26日(26)	<u>380</u> (369)	<u>14.6</u> (14.2)	米寿祝賀会1回
6月	26日(26)	391 (392)	15.0 (15.1)	アヤメ観賞8回 (守谷市四季の里公園)
7月	26日(27)	386 (418)	14.8 (15.5)	
8月	27日(26)	<u>417</u> (394)	<u>15.4</u> (15.2)	夏祭り5回(施設内)
9月	26日(26)	<u>423</u> (400)	<u>16.3</u> (15.4)	敬老会
10月	26日(27)	<u>438</u> (410)	<u>16.8</u> (15.2)	ショッピング・食事会8回 (イオンタウン守谷) 米寿祝賀会1回
11月	26日(25)	394 (394)	15.1 (15.8)	
12月	26日(26)	<u>426</u> (405)	<u>16.3</u> (15.6)	クリスマス&忘年会2回 (施設内)

平成29年 1月	24日 (24)	394 (336)	16.4 (14.0)	米寿祝賀会2回
2月	24日 (26)	405 (319)	16.8 (12.3)	百寿祝賀会1回
3月	27日 (27)	462 (374)	17.1 (13.9)	
合計	310日 (312)	4,907 (4,600)	15.8 (14.7)	* 予防通所利用者 人数含む

◎平成29年3月末現在の登録人数 ()内は前年度実績数

	通所介護	介護予防 (要支援)	合計(人)
男性	8 (7)	2 (0)	10 (7)
女性	32 (33)	2 (2)	34 (35)
計	40 (40)	4 (2)	44 (42)

◎平成29年3月末現在の要介護度別人数 合計44名 ()内は前年度実績数

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数	1 (1)	3 (1)	10 (10)	12 (15)	12 (7)	5 (5)	1 (3)

5. 居宅介護支援事業所にかかる事業実績

ご利用者・ご家族等の介護相談及びケアプランの作成を行い、在宅介護利用者の生活支援を実行しました。つくばみらい市や他市町村の委託にて要介護認定調査を併せて実施しました。その他、つくばみらい市ケアマネ会の書記及び幹事として研修会等を企画し、各自のスキルアップはもちろんのこと、市内の多くのケアマネージャーとの連携強化を図りました。

また、地域貢献として、つくばみらい市が実施する認知症サポーター養成講座やヘルパー養成の講師を行い、地域で認知症の理解を深めるための取り組み等を積極的に支援しました。

(単位：件数) ()内は前年度実績数

年月	要介護 ケアプラン作成	要支援 ケアプラン作成	認定調査件数
平成28年4月	89 (90)	11 (13)	14 (8)
5月	88 (89)	9 (14)	10 (10)
6月	87 (87)	8 (13)	7 (12)
7月	90 (88)	8 (12)	12 (13)
8月	91 (87)	8 (11)	6 (11)

9月	91 (87)	9 (11)	13 (9)
10月	90 (84)	9 (11)	8 (9)
11月	89 (85)	10 (11)	7 (10)
12月	93 (87)	10 (11)	12 (11)
平成29年1月	91 (87)	10 (10)	10 (8)
2月	86 (87)	11 (10)	10 (8)
3月	87 (88)	10 (10)	9 (8)
月平均	89.4 (87.2)	9.4 (11.4)	9.8 (9.8)

6. グループホーム（認知症対応型共同生活介護事業）にかかわる事業実績

多様なニーズと個人を大切にしたケアを実施し、生活の中でご利用者の意向を尊重し、ご自身で選び・選択できるように一緒に考えながら支援しました。地域密着型サービスとして求められている地域交流については、下表のとおり、伊奈特別支援学校はじめ、全4団体と交流の機会を持ちました。

また、行事では、花火観賞会について、本年度よりご家族参加としまして好評いただきました。尚、毎月傾聴・歌のボランティア等地域の方々をお招きし、ご利用者が楽しめる、気分転換を図ることができる機会を設けました。

◎主な行事の実績報告

() 内は前年度実績数

行事实績 年 月 日	行事名 (場所)	参加 入所者数	職員及び ボランティア数	家族数
平成28年 4月1・4日	桜の花見 (市きらくやま)	15 (12)	7 (3)	—
5月5日	端午の節句 (施設内)	16 (0)	5 (0)	—
5月14・20・ 23・24日	外食 (夢庵小絹店)	15 (14)	8 (5)	13 (13)
6月2・4日	立浪部屋見学 (つくばみらい市)	16 (13)	9 (6)	—
8月11日	花火観賞会 (施設内)	18 (17)	6 (4)	11 (0)
9月15日	敬老会 (伊奈特別支援学校との交流)	16 (16)	25 (7)	—
9月21日	ふたばランド交流(施設内)	16 (16)	56 (58)	—
10月7日	小張小学校との交流 (施設 内)	17 (17)	22 (4)	—
10月11・14・ 21・27・31日	ショッピング・食事会 (下妻市イオン)	12 (15)	10 (9)	11 (13)

11月25日	運動会（施設内）	17（16）	6（6）	—
12月22日	クリスマス・忘年会 （施設内）	18（16）	8（6）	—
平成29年 1月10日	新年会（施設内）	18（17）	6（6）	—
2月3日	節分（施設内）	16（15）	4（4）	—
合 計	延べ13行事 実施	210 （184）	172 （118）	35 （26）

◎市別入所利用実績（平成29年3月末）

・つくばみらい市のみ 18人（男性3人・女性15人） 平均年齢 86歳

7. 地域包括支援センター（ブランチ型）にかかる事業実績

つくばみらい市地域包括支援センターのブランチ委託は従来どおり業務を受け、相談業務等を実施しました。本年度についても各機関と連携を図り、相談者の状況に応じ対応しました。月1回のブランチ会議へ参加し、各地区担当との連携強化・情報共有を実施。高齢者世帯と独居世帯の実態把握訪問を行っています。相談件数については、平成27年度に比べ減少しましたが、相談内容が多岐に渡ることが多く、より多く対応しました。

また、平成28年5月から地域包括支援センター本署（社会福祉協議会）が新伊奈庁舎に移転したことにより、今まで以上に情報交換や連携が図りやすい環境となりました。

認知症サポーター養成講座や社協まつりの参加を通して、地域貢献・交流の機会を持つことができました。

地域支援事業の「生活支援体制整備事業」の協議体作りの勉強会にも参加し、地域ニーズと社会資源の情報収集に努めました。

◎主な相談活動（受付・対応）の実績

（ ）内は前年度実績数

相談項目	平成28年度	
	受付件数	対応件数
電 話	100（128）	506（502）
訪 問	12（11）	276（214）
来 荘	10（14）	27（60）
文 書等	6（4）	85（92）

その他	1 (0)	17 (11)
合計	129 (157)	911 (879)

◎相談内容別延べ件数

相談内容	件数
1. 権利擁護	1 (2)
2. サービス利用	24 (33)
3. 認知症	5 (3)
4. 精神	4 (9)
5. 高齢者の家族	1 (0)
6. 介護	83 (71)
7. 虐待	1 (0)
8. 医療	3 (8)
9. 所得・生活	18 (40)
10. その他	6 (7)
合計	146 (173)

◎実態把握訪問件数 123件

◎月平均訪問件数 34件

8. 各委員会及び会議の運営にかかる事業実績

(1) 運営委員会

定例として毎月第4水曜日に開催をしました。各部署の事業、行事などの連絡、施設運営にかかる話し合いを各部門所属長中心に実施しました。委員会終了後は議事録を掲示し、一般職員への周知に努めました。

尚、年度始めには法人名変更検討委員会も併せて開催し、法人名変更にかかる準備を行いました。

(2) 苦情解決対応委員会（法定）

平成28年10月11日に開催しました。委員会では、接遇に関する事や環境整備等ご利用者への対応時に発生した苦情6件の状況、経過、改善の報告をしました。第三者委員の助言をいただき、改善対策の方法や職員指導を行いました。

(3) 入所検討委員会（法定）

3ヶ月毎の第2金曜日に実施を致しました。県特別養護老人ホーム入所指針により、入所対象者は要介護3以上と認定された方及び特例的な施設入所が認めら

れる方となりました。入所を申込されているご家族から、必要に応じて状況を聞き取りし資料に反映しています。調査項目については分析・点数化を図り、入所検討委員会の審議を経て順位表を決定しています。構成員は第三者委員2名、行政より介護福祉課課長補佐1名、当法人理事長、施設長、看護課長、介護係長、居宅主任、相談員2名、経理主任の11名となっています。

〈入所検討対象者数〉

第1回	平成28年	4月	8日	50名
第2回		7月	8日	31名
第3回		10月	14日	26名
第4回	平成29年	1月	13日	32名様

の順位を決定しました。

(4) 感染症対策委員会（法定）

本年度も施設長、看護師が中心となって特に冬期を準展的に開催しました。平成28年10月には、感染症の基礎知識・予防対策等の内部研修を計3回実施し、職員への教育も継続的に取り組みました。本年度も委員会で審議・決定した対策事項を励行しました。ご利用者のうち感染症の発症された方が若干名いましたが、集団感染を起こすことなく観察経過することができました。

(5) グループホーム運営推進会議（法定）

本年度についても、奇数月の第4水曜日、合計6回実施しました。年間行事予定及び実施報告、事故にかかる報告、ご利用者のケアにかかるサービスなどの内容に対する要望及び希望、ご意見について、活発な意見交換が実施されました。

(6) 防災委員会（法定）

委員会は毎月1回定例開催し、訓練等を計画に沿って実施しました。具体的な活動としましては、消防署の協力を得て、年2回の総合訓練を行いました。その他平成27年に起きた常総市の災害を受けて、水害訓練を初めて実施しました。

(7) 衛生委員会

産業医であるきぬ医師会病院の対馬医師に、健康診断の結果をチェックして頂き、職員の健康管理にかかる再検査が必要な職員を確認してもらいました。

また、ストレスチェック制度が始まりましたので、実施規程等を整備し、平成29年1月に職員を対象として実施しました。

(8) 食生活委員会

月1回開催し、各委員からの意見を聴取し、よりよい食事提供に努めました。

本年度は、昼食の汁物に関して、多くのご利用者が馴染み深い味噌汁の提供回数を増やしたところ、すまし汁より好んで召し上がっている様子が見られました。

また、納豆が苦手なご利用者が多いとの状況報告があり、代替えの対応を始めました。その他、各委員より意見の挙がった料理については、材料及び調理方法を検討・厨房で実施し、その後の様子を委員会で確認しています。

(9) 機関紙「ぬくもりほーむ」編集委員会

平成28年4月・8月・12月の年3回発行しました。ぬくもり荘の行事写真や避難訓練、職員紹介等、荘内の様子がよくわかるように工夫をしました。

また、情報開示が求められている現在、前年度の決算報告などについても対応しました。上記の内容等についてご家族、来訪者、行政関係団体そして福祉、医療、保健の関係諸機関に送付し情報提供を図りました。

(10) 身体拘束・虐待防止委員会（法定）

原則2ヵ月に1回及び必要に応じて臨時に開催をしました。やむを得ず安全のため身体拘束が必要であるか、また方法等委員会で検討しました。該当ご利用者はホーム・ユニット合わせて4名程の状態ですが、解除に向けての討議を重ねています。

(11) 研修委員会

各部門の研修ニーズを把握し年間スケジュールを作成し、2ヶ月に1回の荘内研修を基本として委員会活動を行いました。主な活動として外部研修の内容を伝達する報告・研修会を実施することにより、より責任感を持って外部研修に参加することが出来ました。

(12) リスクマネジメント委員会

2ヶ月毎に開催しました。介助中の事故の報告や転倒等事故発見の対応により、重大な事故の予防に努め、安全対策及び再発防止対策について討議しました。

(13) ケア会議

従来型・ユニット型特養及びデイサービスやグループホーム毎に定例として毎月1回開催し、ケアにかかる総合的な観点に目を向けながら、個々のご利用者に対するケア状況の見直しや環境の整備及び施設ケア方針に沿っての討議を職員が共同して行いました。

(14) 看取り対応会議

ご利用者及びご家族が看取りを希望され、嘱託医が診断された時点にて看取り介護が開始しますが、本年度については全8回実施しました。ご本人の状態・経過の確認や最期までできる限り快適に過ごせる方法を考え実施しました。また、夜間帯における介護・看護職の対応方法について一定の手順をこの看取り会議にて整備しました。

9. 研修に関する活動実績

施設外研修は、以下のとおりでした。

部 門	研 修 名
事務員	社会福祉法人制度改革セミナー 社会福祉法人事務担当研修会 社会福祉法人新会計基準実践的基礎講習
(居宅) 介護支援専門員	難病研修会・情報交換会
(給食) 管理栄養士	給食担当職員研修 茨城県栄養士会福祉専門研究会
(医務) 看護師	社会福祉施設看護職員研修 看護実務者研修
特養介護職員	認知症介護実践者研修 接遇・コミュニケーション向上研修 業務改善手法研修 OJTマネジメント向上力研修 社会福祉施設等新任職員研修 介護福祉士実習指導者講習会 ユニットケアフォローアップ研修 研修担当者養成研修 社会福祉施設職員対象防火防災研修 生活対応力向上研修
(デイサービス) 生活相談員	コーチングスキル研修
(グループホーム) 介護職員	社会福祉施設職員対象防火防災研修
(地域包括支援センター) 相談員	茨城県地域包括・在宅介護支援センター実務者研修会

以 上